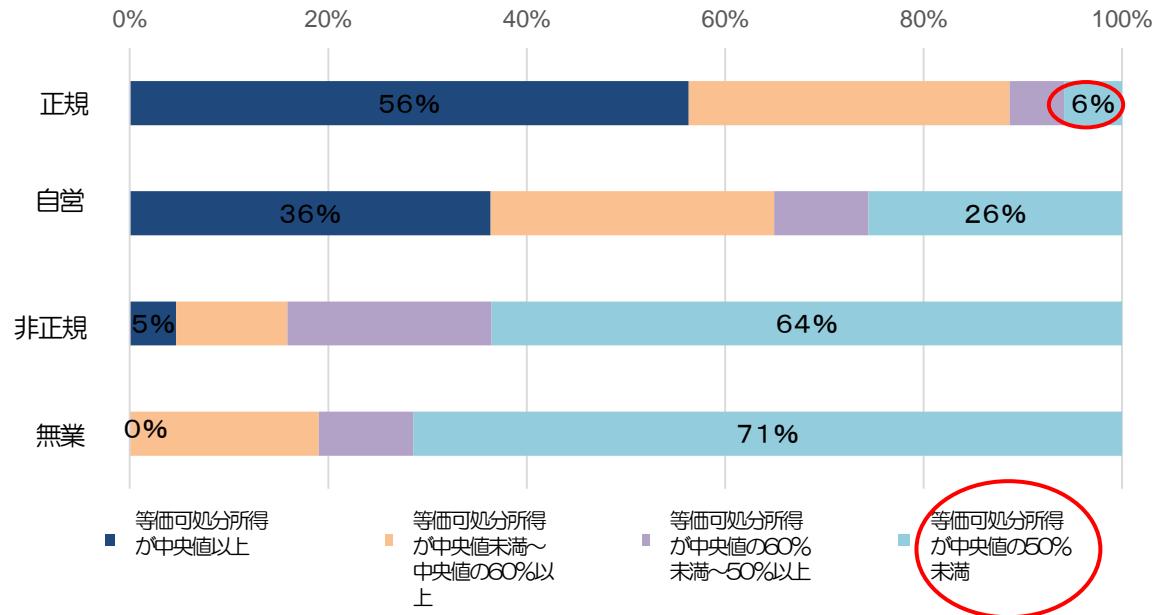


2. 親の就業に関すること

■調査結果（単純集計・クロス集計）から分かったこと

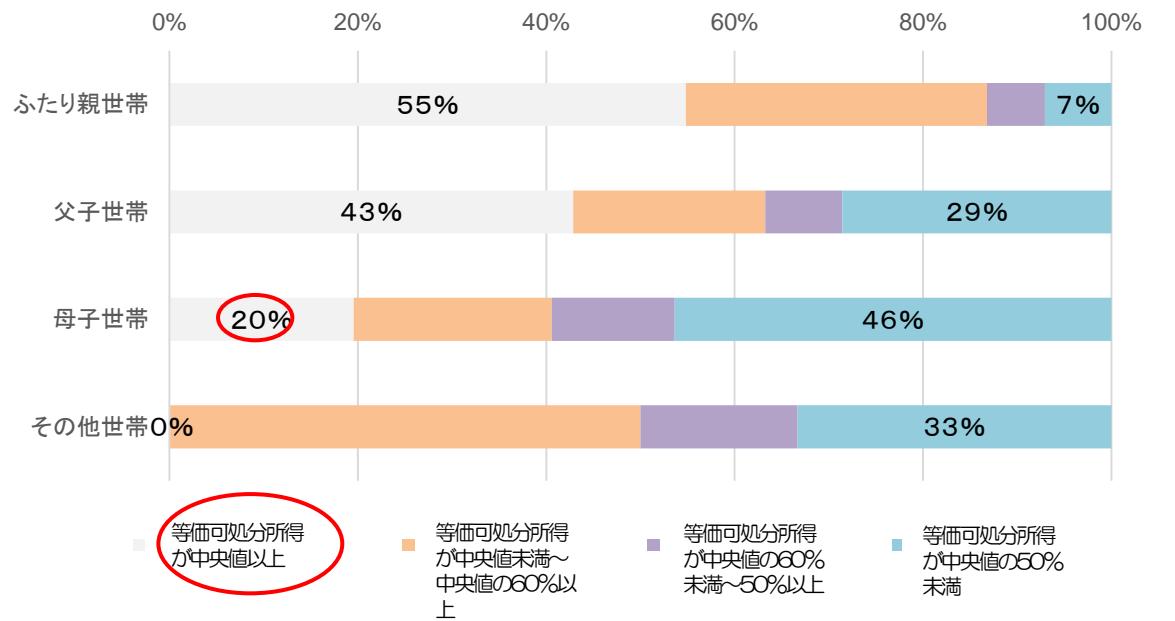
◇困窮世帯は正規が少ない

○困窮度と就業の関連



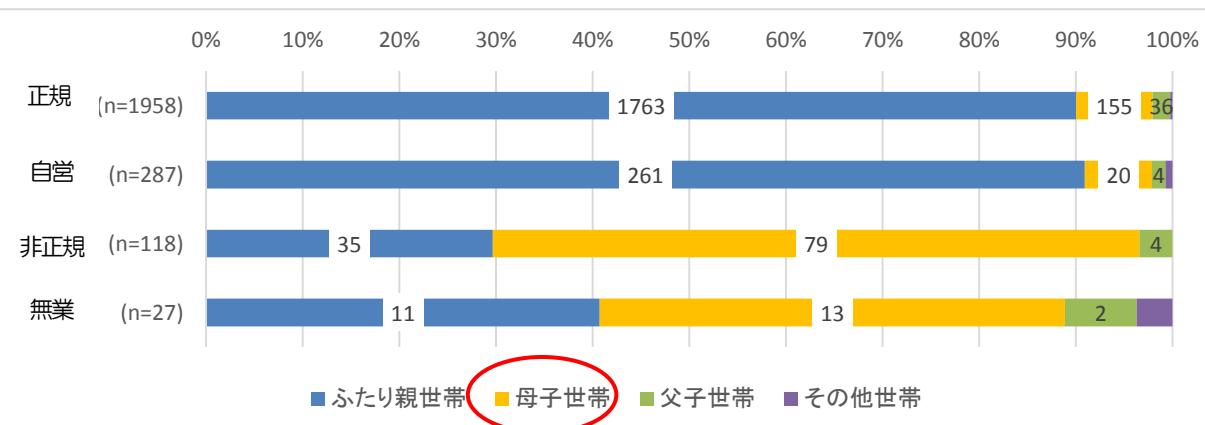
◇母子世帯の8割が等価可処分所得の中央値に満たない

○困窮度と世帯構成



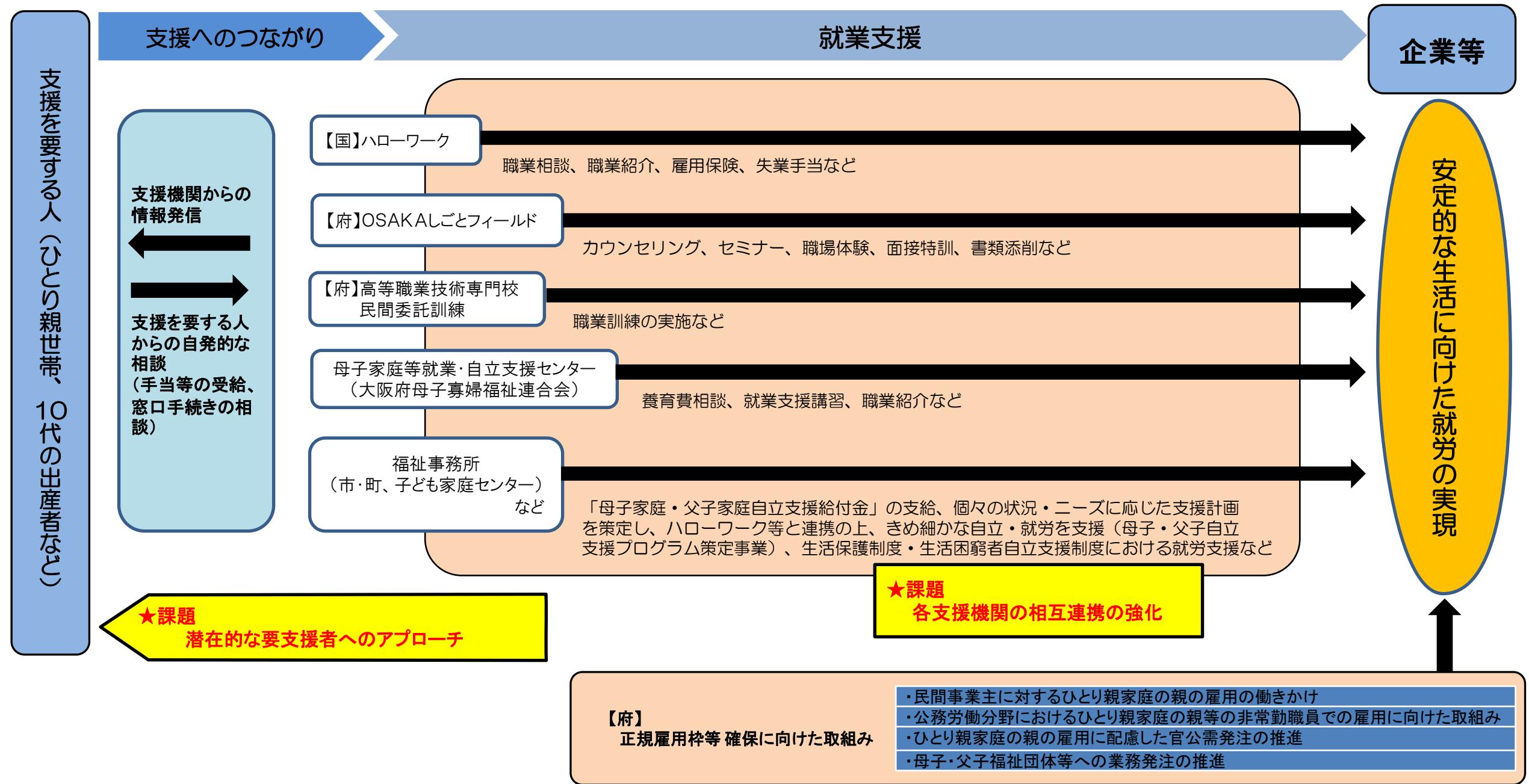
◇母子世帯の就業形態は非正規の割合が高い

○就業形態と世帯構成



■ 現行の取組み

- ・ 就業支援について、職業紹介を初め、就業相談や給付金・貸付金制度など、様々な取組みにより支援を実施



■ 現行の取組みにおける課題・今後の対応の方向性

- ・ 特に母子世帯では経済的に厳しい状況。母子世帯の就業形態は非正規の割合が67%となっている。
 - * 経済的な自立につながるよう、資格の取得などを支援
 - * 多様な就職情報を提供する機会を創出
 - * 支援制度の周知